

富山県インド経済訪問団



- 日程 12月19日（木）～24日（火）
- 訪問先 本 団 チェンナイ⇒A P 州⇒デリー
経済団 チェンナイ⇒デリー
- 団員 本団団長 知事 顧問 山本県議会議長
経済団団長 麦野経済同友会代表幹事
団員 県内事業者など 29名

経済成長が著しいインドとの交流促進のため、既進出企業の視察やインド企業との交流セミナーのほか、教育関係者、政府機関等との交流、観光PRなどを実施

経済訪問団の主な行事 <チェンナイ>

○在チェンナイ日本国総領事館訪問

- ・高橋宗生総領事から現地情勢のブリーフィング

○タミルナドゥ州工業相との会談

- ・ラジャ工業相と会談し、製造業が盛んな両県州との経済交流について意見交換

○現地企業との交流セミナー、情報交換

- ・富山県企業と現地企業の相互プレゼンテーションの実施
- ・企業同士の商談、情報交換の実施



経済訪問団の主な行事

< A P 州 >

○ A P 州政府表敬・M O U 再締結

- ・ A P 州政府を表敬訪問、州幹部らと面会し情報交換
- ・ A P 州商工業・食品加工省長官と「交流・協力に関する覚書（M O U）」へ署名
- ・ 交流・協力分野は、①経済交流、②文化交流、③人的及び学術交流、④デジタル分野での人材交流、⑤医薬品分野に関する交流



○ 大学関係者との意見交換

- ・ 現地大学関係者（アンドラ大、アチャラ・ナガージョナ大、リ・ヴェンカテスワラ大）と面会
- ・ 今後の両県州の学術交流の方向性を確認
- ・ アンドラ大学に県立大学学長の親書を手交し、協定締結に向けた協議の促進を確認



経済訪問団の主な行事

<デリー>

○在インド日本大使館訪問

- ・ 小野啓一大使を表敬。今後の交流拡大について意見交換



○インド商工省投資促進局表敬訪問

- ・ バティア長官を表敬、インドとの経済交流について意見交換
- ・ 富山県ものづくり総合見本市への参加の要請



○観光説明会の実施

- ・ 現地旅行会社、メディアに対し、富山の観光の魅力をPR
- ・ 富山の自然や豊かな食・文化に高い関心

経済訪問団の主な行事

<経済団>

経済関係者に行程の一部を分かれて行動いただいた

○スリシティ工業団地、企業視察

- ・ A P 州最大規模のスリシティ工業団地と団地内企業を視察



○進出日系企業との意見交換

- ・ チェンナイ周辺進出日系企業との情報交換会を実施



○健康分野、人材育成での取組視察

- ・ 健康診断施設、日本式ものづくり学校での人材育成の現場を視察

経済訪問団の成果と今後の取組み 1

○富山県からの企業進出・取引拡大への後押し

- ・ 現地企業のニーズや先行進出事例の取組みを確認できたほか、ビジネスにおいて人とのつながりを大切にするインド企業と対面での交流
- ・ 県では、訪問企業のフォローを実施するとともに、ジェトロ富山内に、インド進出や取引拡大を目指す企業からの相談対応や情報収集等を行う「富山県インド経済デスク（仮称）」の設置を検討

○経済分野の交流推進

- ・ インド商工省投資促進局、タミルナドゥ州工業省のトップとの直接対話により今後の企業進出や人材確保への支援、県との交流推進について確認
- ・ 今後の取組みとして、天皇誕生日祝賀レセプションでのブース出展、ものづくり総合見本市への関係者の参加誘致、ジェトロチェンナイへの県職員の派遣を検討

経済訪問団の成果と今後の取組み 2

○ A P 州とのM O U再締結による交流の深化

- ・ 2015年にM O Uを締結して以来、人的交流、学術交流などの分野で交流を実施してきたA P 州と再度M O Uを締結
- ・ 今回新たな項目として、「デジタル分野における人材交流」を追加

○ 人材育成・人材確保

- ・ 富山県立大学とアンドラ大学との学術交流協定の締結
- ・ インドからの高度外国人材の受入れを進めるため、「とやま外国人活用支援デスク」の連携企業に、新たにインド人材に強みを持つ人材紹介会社を追加

○ 訪日観光客のさらなる誘客

- ・ 本県としてインドでの観光説明会は初
- ・ インドからのさらなる誘客に向け、本県への旅行商品造成のための具体的な提案やP Rを実施

暖かく迎えて下さった皆様、厚く御礼申し上げます

